

安心してお使いいただくために



本書をよくお読みのうえ、各種説明書と共に大切に保管してください。
本書には、ご使用の際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。

安心してお使いいただくために

本製品のご使用の前に、必ず各種説明書をお読みください。

本書には、ご使用の際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。本書は、必要なときにすぐに参照できるように、お手元に置いてご使用ください。

お子様がお使いになるときは、保護者のかたが各種説明書の内容をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

本書では、本製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

表示の説明

表示	表示の意味
 危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定されること”を示します。

＊１： 重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

＊２： 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさします。

＊３： 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の例

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求などについて、当社はいっさい責任を負いません。
- 本製品の各種説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 記憶装置（ストレージなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。

保証について

- 本製品の保証条件は、付属している当社所定の保証書の規定をご覧ください。
- 無料修理規定に基づき無料修理を行います。無料修理規定は保証書でご確認いただけます。
- 保証対象部分は本体、ACアダプター、電源コード、充電式USIアクティブ静電ペンです。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な内容などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータや設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先へご相談ください。
その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は無料修理規定に基づいて修理いたします。

参照▶『取扱説明書 付録 2 お問い合わせ先』

商標について

- Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- Google、Google ドライブ™、Chrome、Chromebook™ は Google LLC の商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- その他の記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、上演、演奏、展示、改変、複製物の譲渡および貸与、ならびにネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

バッテリーパックの取り扱いについて

本製品にはバッテリーパックが内蔵されています。お客様で自身で取りはずしや交換をしないでください。

充電機能が低下した場合は、バッテリーパックの交換を依頼してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

- バッテリーパック交換（個人）
dynabook あんしんサポート修理相談窓口にご連絡ください。
- バッテリーパック交換（企業）
営業担当にご連絡ください。

参照 dynabook あんしんサポート修理相談窓口『取扱説明書 付録 2 お問い合わせ先』



危険

バッテリーパックに異常があるときは使用しない

バッテリーパックに次のような異常がみられるときは使用を中止し、dynabook あんしんサポート 修理相談窓口または保守サービスに相談してください。そのまま使用し続けると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。

- ・ 充電しなくなった。あるいはいつもより極端に充電時間が長くなったり、短くなったりした
- ・ バッテリー駆動時間が急激に短くなった
- ・ バッテリーパック、またはその周辺の温度がいつもより高くなった
- ・ バッテリーパック、またはその周辺が膨れたり変形している
- ・ バッテリーパック、またはその周辺から異臭、液漏れがある
液漏れの場合、液が皮膚につくと化学やけどのおそれがあります。



禁止

バッテリーパックを取り扱うときは次のことを守る

- ・ 指定の充電方法以外にて充電しない
- ・ 分解・改造しない
- ・ 火中に投下しない、火気に近づけない、こたつの中に入れない、電子レンジで加熱しない、熱器具に近づけない、高温状態で放置しない
- ・ 落下させる、ぶつける、先のとがったもので力を加える、強い圧力を加えるといった衝撃を与えない
- ・ 変形、変色、割れ、ヒビ、サビ、液漏れなどの外観の異常、あるいは異臭、発熱などの異常がある場合には使用しない
- ・ 金属をバッテリーパックの金属端子に触れさせない
- ・ 水、コーヒー、ジュースなどの液体でぬらさない



指示

これらを守らないと、発熱・発火・破裂のおそれがあります。

警告

バッテリーパックから漏れた液が目や口に入った場合は、きれいな水で洗浄したあと、ただちに医師に相談する

液が目に入った場合は、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗浄したあと、すぐに医師の治療を受けてください。口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。

皮膚についた場合には、化学やけどを防ぐために、すぐにきれいな水で洗浄してください。衣服についた場合には、体に液が接触しないように、すぐに衣服を脱いでください。



指示

ごみ廃棄場で処分されるごみの中にバッテリーパックを捨てない

リチウムイオン電池は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」により、回収・再資源化が求められております。

バッテリーパックの廃棄については、本製品の各種説明書をご覧ください。



禁止

注意

バッテリーパックは5～35℃の室温で充電する

上記温度範囲内で充電しないと、液漏れ・発熱・性能や寿命が低下するおそれがあります。



指示

バッテリーパックを保管する場合は、できるだけ湿度の低い冷暗所で保管する。また、子供の手の届かない場所に保管する

- 本製品を長期保管するときには、過放電を防止するために、半年に1回くらいの割合で、50%程度の充電をしてください。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電源コードとACアダプターの取り扱いについて

警告

もし、異常な音や異常なおいがしたり、過熱、発煙、変形したときは、
すぐに本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを
コンセントから
抜け

もし、本体やACアダプターなどを落したり、強い衝撃を与えたときは、
すぐに本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを
コンセントから
抜け

通電中の本体やACアダプターにふとんをかけない。また、じゅうたんなどの
ように熱の逃げないものの上で使用したり、布などでくるんだりしない
内部の温度が上がり、火災・やけど・故障のおそれがあります。



禁止

ACアダプターは、本製品に付属、または指定されているものを使用する
本製品に付属、または指定されたACアダプター以外のものを使用すると、火
災・破裂・発煙のおそれがあります。



指示

電源コードを取り扱うときは次のことを守る

- ・強く引っばったり、折り曲げない
- ・結んだ状態で使用しない
- ・折れ曲がったりねじれた状態で使用しない
- ・加工したり傷つけたりしない
- ・膨らんでいたり、傷ついた電源コードは使用しない
- ・重いものを載せない
- ・ドアなどにはさまない
- ・加熱したり、熱器具に近づけたりしない
- ・水、湿気のかかる場所で使用しない
- ・束ねたままで使用しない
- ・ACアダプターなどに巻き付けない

これらを守らないと、火災・やけど・感電のおそれがあります。もし、電源コードが傷ついたときは、使用を中止し、お問い合わせ先に相談してください。

参照『取扱説明書 付録 2 お問い合わせ先』



指示

電源プラグは、AC100Vコンセントの奥まで確実に差し込む
確実に差し込んでいないと、火災・感電のおそれがあります。



指示

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてから乾いた布などで清掃する

そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。長時間使用しないときはコンセントから抜き、ほこりが付着しないように保管してください。



指示

海外でご使用の場合は、各国／地域の法令または安全規格に適合した電源コードを使用する

それ以外の電源コードを使用すると、火災・感電のおそれがあります。海外で使用する場合は、各国／地域の法令または安全規格に適合した電源コードをご使用ください。



指示

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

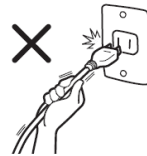
電源プラグを差したままにすると、ほこりや絶縁破壊などが原因で火災・やけど・感電のおそれがあります。



指示

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らない

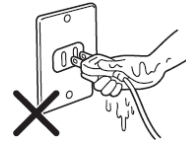
電源プラグを持って抜いてください。電源コードが破損し、火災・感電のおそれがあります。



禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない

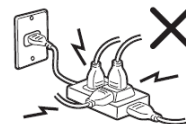
感電のおそれがあります。



禁止

タコ足配線をしない

電源コードをタコ足配線にするとコンセントが過熱し、火災・感電のおそれがあります。



禁止

ACアダプターを取り扱うときは次のことを守る

- ACアダプターに電源コードやケーブルを巻き付けない
- 電源コードやケーブルを巻き付けたまま使用しない
- ACアダプターの根元に無理な力を加えない
- 無理に折り曲げない
- 持ち運び時には指定以外の方法でコードを束ねない
- ケーブルが膨らんでいたたり、傷ついている場合は使用しない
- ケーブルに輪ができた状態や、ねじれた状態では使用しない



指示

これらを守らないと、火災・やけど・感電のおそれがあります。もし、ACアダプターが傷ついたときは、使用を中止し、お問い合わせ先に相談してください。

参照 『取扱説明書 付録 2 お問い合わせ先』

ACアダプターの表面には触れ続けない

通電中や充電中は、ACアダプターの表面温度が高くなり、やけどのおそれがあります。



禁止

注意

本体を移動する場合は、ACアダプターを本体から取りはずす

本体のコネクタ部分に無理な力が加わり、火災・感電・破損のおそれがあります。



指示

お手入れの前には、本製品や本製品の周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

電源を切らずにお手入れをはじめると、感電のおそれがあります。



指示

電源コネクタを取り扱うときは次のことを守る

- 本製品の電源コネクタにACアダプターのプラグを確実に差し込む
- 本製品の電源コネクタ部には強い力を加えない

これらを守らないと、やけど・発煙のおそれがあります。



指示

付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない

付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。



禁止

コンセントに接続した状態でACアダプターに継続して触れない

やけどのおそれがあります。



禁止

本体と周辺機器の取り扱いについて

警 告

砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしない。また、砂などが付着した手で触れない

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

お客様ご自身で、分解・改造・修理しない

火災・感電・故障・けがのおそれがあります。絶対にご自身で分解・改造・修理はしないでください。



分離禁止

雷が鳴り出したら本体やアンテナ線、ケーブル類には触れない

落雷による感電のおそれがあります。

雷の発生が予想されるときには本体からケーブル類（電源コード、ACアダプター、USBケーブルなど）をはずしてください。



禁止

取りはずした小さな部品（キャップなど）は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万が一飲み込んだ場合はただちに取り出す必要がありますので、すぐに医師に連絡し指示を受けてください。



指示

ビニール袋などの包装材料は乳幼児の手の届かないところに保管する

口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息のおそれがあります。



指示

可燃性ガスエアゾールやスプレーを本体に使用しない

清掃や可動部の潤滑用など、可燃性エアゾールやスプレーを本体に使用すると、噴射される可燃性ガスが本体の内部にとどまり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火し、爆発・火災・やけど・故障のおそれがあります。



禁止

注 意

本体の上または近くに「花びん・コップ」などの液体の入った容器や、「ステーブル・クリップ」などの金属物を置かない

異物（金属片・液体など）が本体の内部に入ると火災・感電のおそれがあります。異物が内部に入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。点検・修理を、お問い合わせ先に依頼してください。

参照▶『取扱説明書 付録 2 お問い合わせ先』



禁止

ふろ場、シャワーなどの水がかかったり、湿度の高い場所あるいは屋外などの雨や霧が入り込む場所では使用しない

火災・感電のおそれがあります。



禁止

ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かない

落ちたり、たおれたりしてけがをするおそれがあります。



禁止

画面にヒビ、傷などがあった場合は、画面に触れない

そのまま使用するとけがをするおそれがあります。



禁止

画面が破損し、液晶（液体）が漏れたときは、液晶（液体）を吸い込んだり、飲んだりしない。また、液晶（液体）に触れない

中毒を起こす・皮膚がかぶれるおそれがあります。万が一目や口に入った場合は、すぐに流水で洗浄し、ただちに医師にご相談ください。皮膚や衣服についてしまった場合は、すぐに流水で洗浄してください。



禁止

ヘッドセット／ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量を長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。



禁止

周辺機器を接続したり、取りはずしたりする場合は、各種説明書に記述されてあるところ以外は開けない

火災・やけど・感電のおそれがあります。



禁止

コネクタに金属製品を接触させない

金属製のヘアピンやクリップなどがUSBコネクタなどに触れると本体や金属製品が発熱し、やけど・故障のおそれがあります。特に、本体をキャリングバッグなどに入れて持ち運ぶときには、金属製品と接触させないようにしてください。



禁止

破損したまま使用しない

火災・やけど・けがなどの原因となります。



禁止

警 告

満員電車など、付近に植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）を装着したかたがいる可能性がある場所では、本製品の電源を切る

電波により植込み型医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。



指示

植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）を装着しているかたは、無線通信機能（無線LAN／Bluetooth®／ワイヤレスWAN機能*1）が搭載されている本製品を使用する場合、植込み型医療機器の装着部位から15cm以上離す電波により植込み型医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。



指示

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは本製品の電源を切る、また、医療用電気機器を近づけない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。



指示

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは本製品の電源を切る

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。



指示

電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る

本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、本製品の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えるおそれがあります。

詳しくは、各航空会社や病院などの指示に従ってください。



指示

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は本製品の電源を切る

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。



指示

*1 ワイヤレスWAN機能搭載モデルだけが対象となります。

本体と周辺機器の取り扱いについて

本体と周辺機器を取り扱うときは次のことを守る

- 直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。
- 極端に低温になるところに置かないでください。
- スピーカー、テレビなど磁気を発するものの近くで使用しないでください。
- 本体の表面を硬いものでこすらないでください。
- 製品や画面の上にものを乗せたり、ものを落としたりしないでください。
- ほこりの多いところに置かないでください。
- 急激な温度変化を与えないでください。
- 機器に強い衝撃や外圧を与えないでください。
- スイッチ／タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いもので操作したりしないでください。
- microSDメモ리카ードやSIMカードは使用後熱くなっている場合があります。取りはずす際、カードが熱くなっている場合は少し時間をおき、カードが冷めてから取りはずしてください。時間をおいても温度が下がらない場合は、本製品の電源を切り、冷めるのを待って取りはずしてください。
- 本体を持ち運ぶ場合は、本体に接続されているケーブルをすべてはずし、電源を切ってください。
- アプリケーションソフトの動作中に電源を切らないでください。
- 記録メディア^{*1}、USB対応機器を挿入した状態で、本体をキャリングバッグなどの中に入れないでください。
- 電源を入れたままで本体のディスプレイを閉じると、ディスプレイ、キーボード、パームレストが熱くなることがあります。ディスプレイを開けて少し時間をおき、温度を下げてください。

これらを守らないと、故障・破損・誤動作・機能低下・記憶内容の消失などのおそれがあります。本体や周辺機器に異常が見られたときは使用を中止し、お問い合わせ先に相談してください。

参照 『取扱説明書 付録 2 お問い合わせ先』

当社純正品以外の周辺機器やアプリケーションソフトを使用する場合は、本製品で使用可能かどうかを、取り扱い元に確認してください。

当社純正品以外の周辺機器やアプリケーションソフトが原因で発生した損害（お客様へのけが、財産への損害および本製品の故障によるデータの消失など）については、当社では責任を負いません。あらかじめご承知ください。

*1 記録メディアとは、USBメモリなどを示します。

お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。

機器の汚れは、柔らかくきれいな乾いた布などでふき取ってください。汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってからふきます。

中性洗剤、揮発性の有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）、化学ぞうきんなどは使用しないでください。変質・変形・変色のおそれがあります。

バッテリーパックの取り扱いについて

バッテリー駆動時間が短くなった場合や警告メッセージが表示された場合には、新しいバッテリーパックと交換してください。

バッテリーパックは消耗品です。バッテリーパックの充電性能が低下した状態でそのまま使用し続けると、急に電源が切れることがあり、データの書き込み・読み込みの失敗、記憶内容の消失・故障などのおそれがあります。

バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

- バッテリーパック交換（個人）
dynabook あんしんサポート修理相談窓口にご連絡ください。
- バッテリーパック交換（企業）
営業担当にご連絡ください。

参照 ▶ dynabook あんしんサポート修理相談窓口『取扱説明書 付録 2 お問い合わせ先』

電源コードとACアダプターの取り扱いについて

通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。

本体を持ち運ぶときは、電源コードを抜き、温度が下がったことを確認してください。温度の影響を受けやすい木製品・家具などの上に置くと、あとがつくことがあります。

無線通信の取り扱いについて

電子レンジ付近、静電気や電波障害の発生する場所、金属ドアで遮蔽された部屋などでは、使用しないでください。

設置環境により、電波が届かない場合があります。

ストレージおよび記録メディア*1 の取り扱いとデータ保護について

ストレージおよび記録メディアを取り扱うときは次のことを守る

- ストレージおよび記録メディアへ書き込み・読み出し中は電源を切ったり、記録メディアを取りはずし／取り出したりしないでください。
- 新しいオプションの取り付けやアプリケーションのインストールをする前に、現在作成中のデータは、ストレージや記録メディアに保存してください。
- 一度使用したストレージおよび記録メディアをフォーマットする場合は保存されている内容を確認してください。
- ストレージおよび記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きたり、変化／消失した場合に備えて、定期的にバックアップをとって保存してください。
- 記録メディアは消耗品です。大切なデータはコピーしておくことをおすすめします。
- 記録メディアを、水がかかったり、湿気やほこりの多い場所、高温・低温になる場所で保管しないでください。

これらを守らないと、故障・破損・誤動作・機能低下・記憶内容の消失などのおそれがあります。ストレージおよび記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

*1 記録メディアとは、microSDメモリカードやUSBメモリなどを示します。

用途制限について

- 本製品は人の生命に直接かかわる装置等^(※1)を含むシステムに使用できるよう開発・製作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

※1：人の生命に直接かかわる装置等とは、次のようなものをいいます。

- ・ 生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
- ・ 有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置
- ・ 消防法、建築基準法など各種法律を遵守して設置しなければならない装置 など

- 本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム^(※2)に使用しないこと。

※2：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、次のようなものをいいます。

(原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム)

(集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム)

連続運転について

本製品は24時間を超えるような長時間の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内でも部品交換(有料)が必要となります。

結露について

結露(空気中の水分が水滴になる現象)しないよう急激な温度変化を与えないでください。寒いところから暖かいところに本体を移動したときなどは、本体の表面や内部に結露が発生しやすくなります。

結露が発生したまま本製品を使用すると故障の原因となりますので、結露がなくなるまで電源を入れないでください。

使用環境と姿勢

本製品を正しい使用環境でお使いいただければ、身体的疲労を軽減するとともに、本製品の寿命を少しでも長くすることができます。

安全と健康を守り、本製品をより快適にお使いいただく環境について説明します。

本製品の置き場所

- 温度は5～35℃、湿度は20～80%の環境にする
- 急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける
- 暖房機具などの熱いものの近くには置かない
- 使用中のホットカーペットの上に置かない
- 腐食性の薬品のそばに置かない
- 振動などの無い、安定した平らな場所に置く
- ディスプレイの角度を調節しやすくするために、本体の背面をある程度空けておく
- 放熱のために、本体の周囲に適当なスペースを確保する
- マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する
- 無線通信装置から離す
携帯電話やスマートフォン／タブレットも無線通信装置の一種です。

照明

- 日光や照明が画面に反射しないように設置する
薄く着色された窓ガラスを使用したり、ブラインドやスクリーンで光を遮ってください。
- 明るい照明や日光が直接目に入るような場所に本体を置かない
- なるべく、柔らかい間接照明などを使用する
書類や机を照らすためには、スタンドを使用し、その際スタンドの光が画面に反射したり、直接目に入らない位置に置いてください。
- 画面の明るさと広い視界を得るために、ディスプレイの角度を調節する

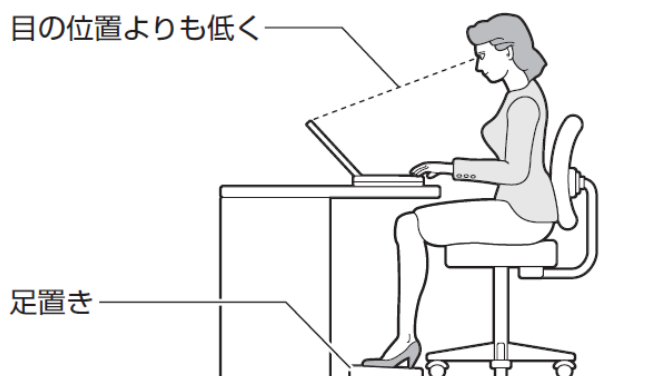
健康のために気をつけたいこと

- リラックスした姿勢で座る
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。
- 適度に姿勢を変える
- 時々立ち上がってストレッチする
1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
- 1時間を超えて連続した作業をしないようにする
1時間に10～15分程度の休憩時間をとってください。
- 作業時間内にも1～2分の小休止を1～2回とる
- 長時間使用して、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用をやめて休息する
長時間使い続けると、腕や手首が痛くなることがあります。万が一、休息しても不快感や痛みが取れない場合は、医師の診察を受けてください。

使用時の姿勢

＊ 使用時の姿勢は、ノートPCスタイルで使用する場合の例です。

- 本体の正面に、適当な高さで距離をおいて座る
眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように調節してください。
- キーボードがひじよりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
- おしりよりもひざが少し高くなるように座る
- 背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
- ひざとひじはほぼ90度になるように、まっすぐ座る
前にかがんだり、背もたれによりかかったりしないでください。



- 本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 落丁、乱丁本は、お取り換えいたします。
dynabook あんしんサポートにお問い合わせください。

安心してお使いいただくために

2024年10月

発行 Dynabook株式会社

<https://dynabook.com/>

〒135-8505 東京都江東区豊洲5-6-15（NBF豊洲ガーデンフロント）

© 2024 Dynabook Inc.

ALL RIGHTS RESERVED

無断複製および転載を禁ず

Printed in China

GM9045714210

本書は再生紙を使用しております